

ダイバーシティと サステナビリティ経営

兵頭 誠之

住友商事株式会社

代表取締役 社長執行役員 CEO



Contents

ダイバーシティと サステナビリティ経営

1

住友商事グループのサステナビリティ経営

外国につながりのある高校生たち
の「活躍する力」を拓く

2

住友商事グループにおけるダイバーシティ

すべての子どもたちが、
夢に向かって
自由な選択ができる社会へ

3

日本社会におけるダイバーシティ

住友商事の社会貢献活動プログラム「100SEED」

～多文化共生社会の実現に向けた教育支援～

住友商事グループのサステナビリティ経営

グローバルネットワーク

海外地域組織は広域4極体制で運営しています。

(2021年3月31日現在)

事業所数

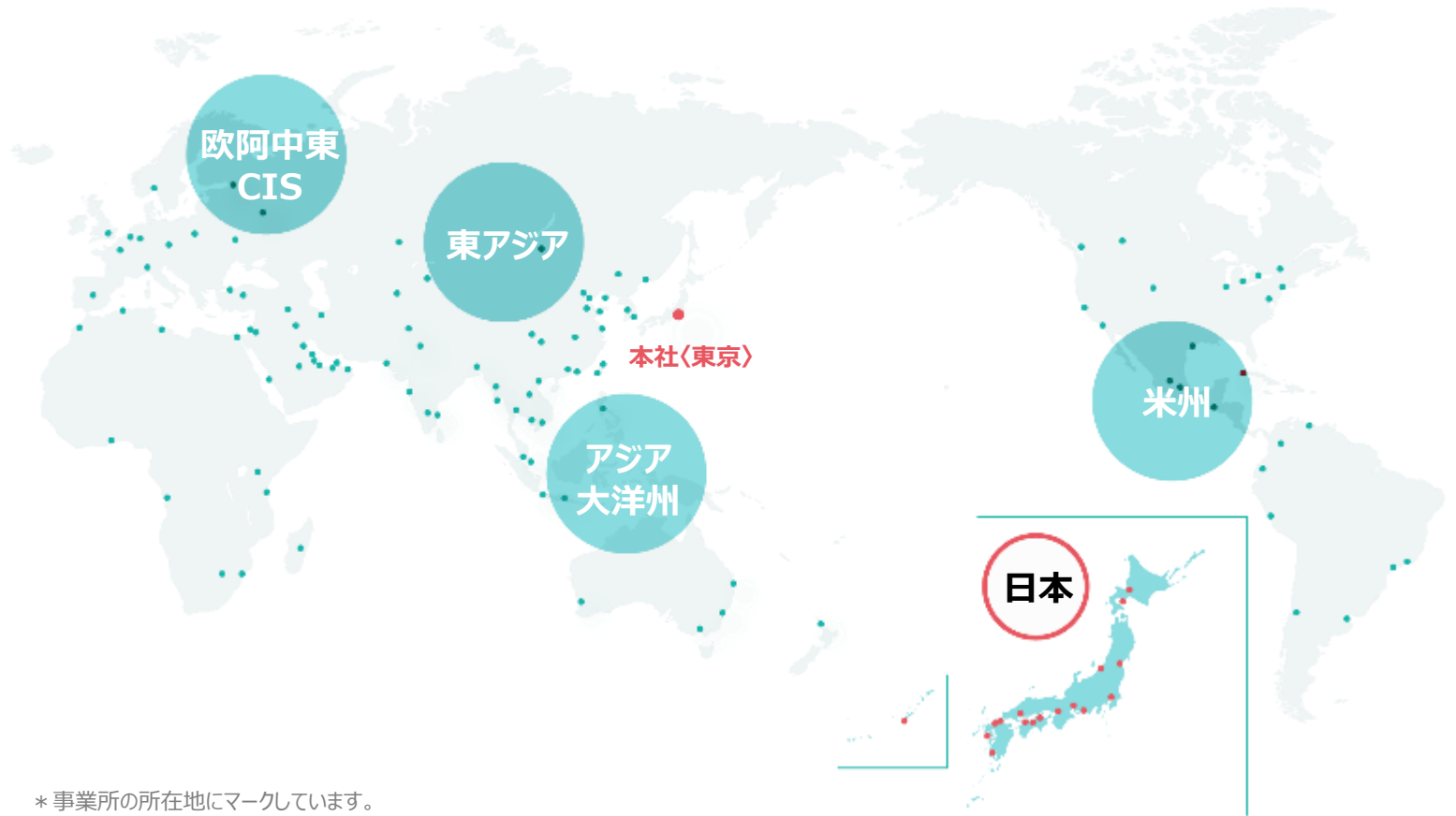
135拠点

66カ国・地域

連結対象会社数

935社

81カ国・地域



6つの事業分野と次世代事業の創出

住友商事グループは、事業部門、イニシアチブ、そして国内・海外の地域組織が連携し、グローバルに幅広い産業分野で事業活動を展開しています。強固なビジネス基盤と多様で高度な機能を戦略的・有機的に統合することで、変化を先取りし、既存の枠組みを超えて社会課題を解決し、新たな価値を創造していきます。



金属事業部門



輸送機・建機事業部門



インフラ事業部門



メディア・デジタル事業部門



生活・不動産事業部門



資源・化学品事業部門



エネルギーイノベーション・イニシアチブ 2021年4月新設

住友の事業精神、住友商事グループの経営理念、マテリアリティ

住友商事グループの価値判断のよりどころは、「住友商事グループの経営理念・行動指針」にあります。

住友の事業精神

「信用・確実」「浮利を追わず」「進取の精神」「自利利他公私一如」

住友商事グループの経営理念【目指すべき企業像】

私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、
広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します。



マテリアリティ



サステナビリティ経営の高度化

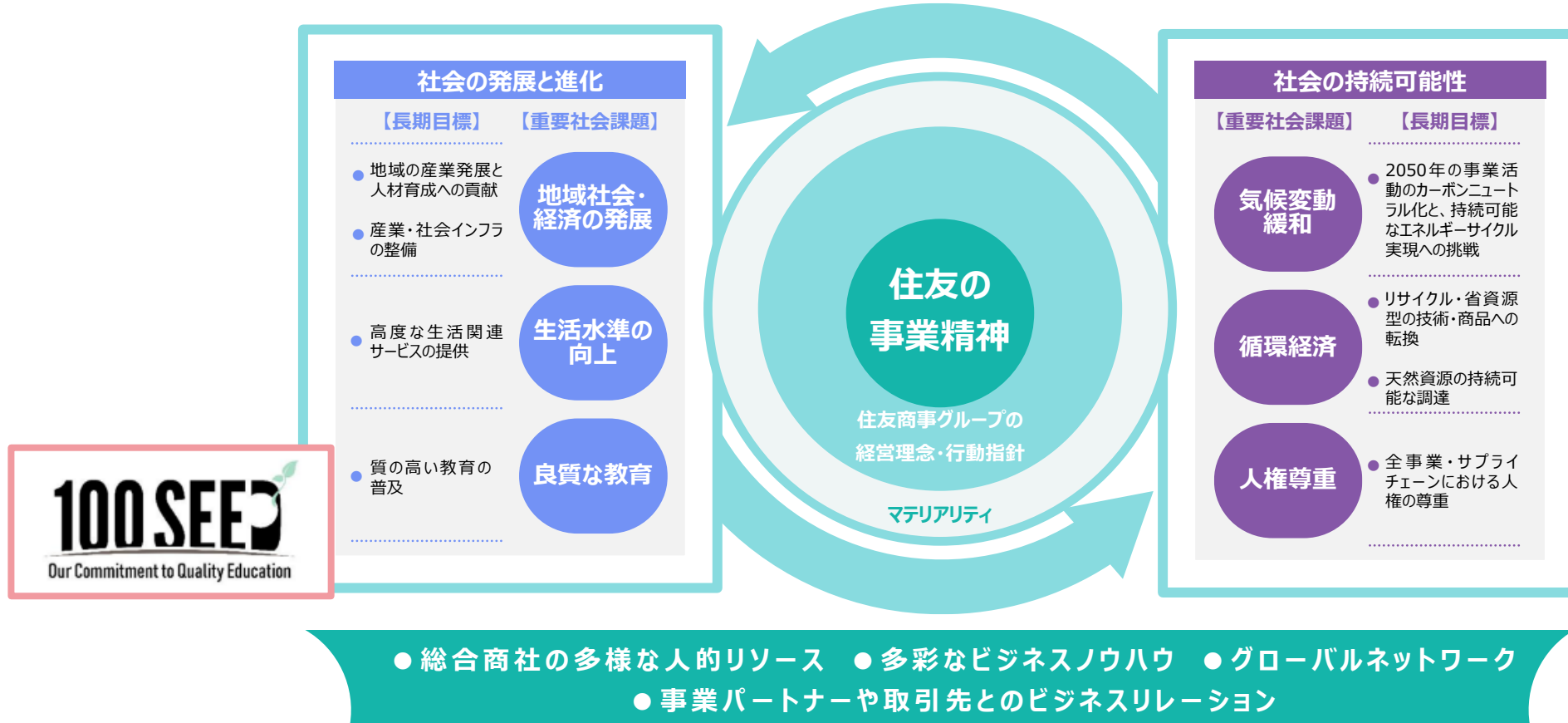
- ◆ 持続可能な社会の実現へ強くコミット
- ◆ 将来の事業環境変化を見通した経営判断
- ◆ プロアクティブかつ包摂的な取り組みを実施

Enriching lives and the world

Sumitomo Corporation | Enriching lives and the world

6つの重要社会課題の特定と、サステナビリティ経営の高度化

住友商事は、2020年6月、社会とともに持続的に成長するためのサステナビリティ経営の高度化の一環として、当社に関わりが深い6つの重要社会課題を選び、それにひも付く長期目標を定めました。



6つの重要社会課題の特定と、サステナビリティ経営の高度化

6つの重要社会課題の達成に向けて推進する取り組みの一部をご紹介します。



社会の発展と進化

【長期目標】 【重要社会課題】

地域の産業発展と人材育成への貢献

産業・社会インフラの整備

高度な生活関連サービスの提供

質の高い教育の普及

地域社会・経済の発展

生活水準の向上

良質な教育



社会の持続可能性

【重要社会課題】 【長期目標】

気候変動緩和

2050年の事業活動のカーボンニュートラル化と、持続可能なエネルギーサイクル実現への挑戦

循環経済

リサイクル・省資源型の技術・商品への転換

天然資源の持続可能な調達

人権尊重

全事業・サプライチェーンにおける人権の尊重



- 総合商社の多様な人的リソース
- 多彩なビジネスノウハウ
- グローバルネットワーク
- 事業パートナーや取引先とのビジネスリレーション

住友商事グループにおけるダイバーシティ

グローバル人材マネジメントポリシー

Global HR Management Policy | Diversity & Inclusion |

| 目指す個の姿 | Top Tier Professionalism

グループの理念やビジョンに共感し高い志を持ち
自律的な成長を続け進取の精神で
グローバルフィールドで新たな価値創造に挑戦する人材

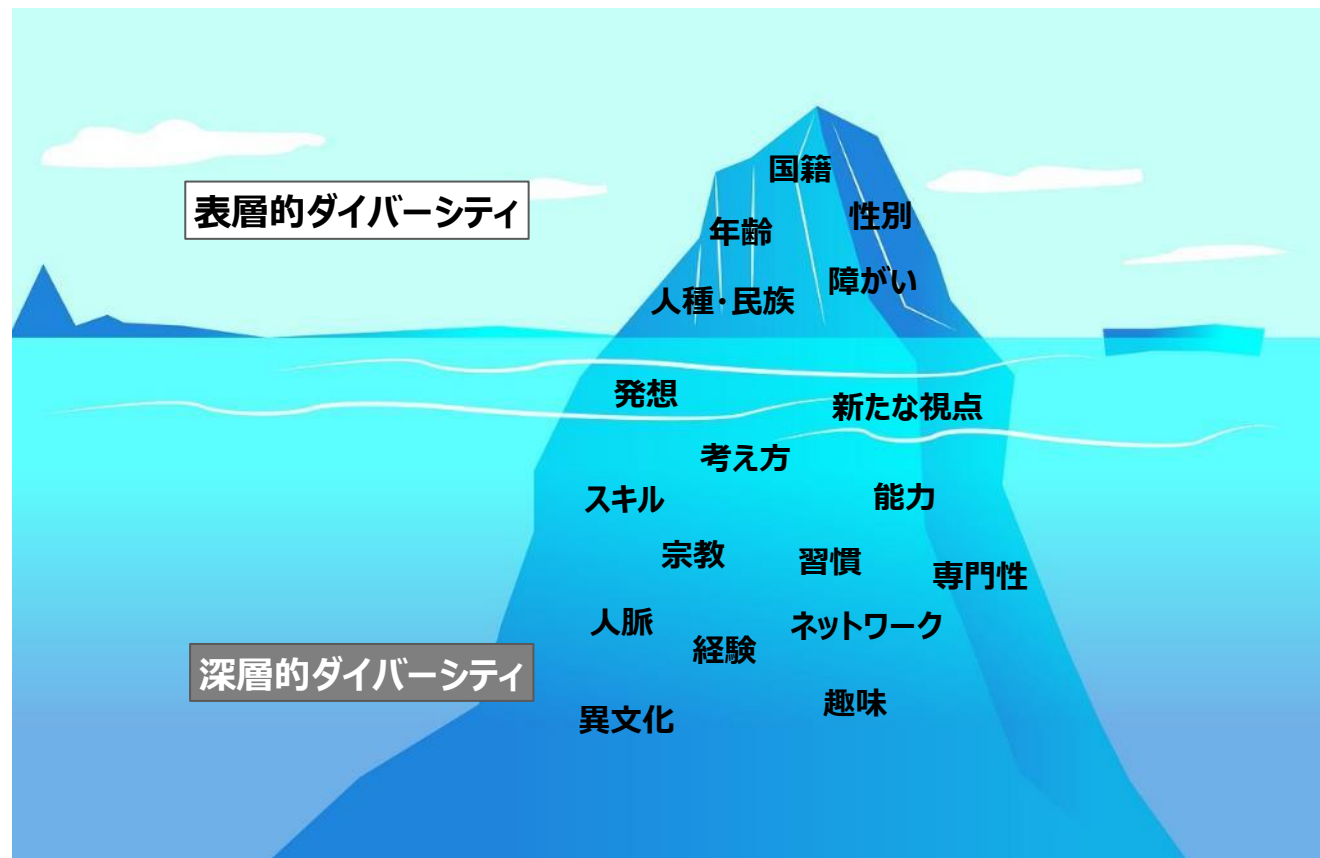
| 目指す組織の姿 | Great Place to Work

個々人がイキイキと新たな価値を生み出し続ける
Great Place to Workをグローバルに築き上げ世界に
人材を輩出する「挑戦の場」として選ばれ続ける組織



⇒ 新たな価値を創造し、社会とともに持続的に成長する！

ダイバーシティ&インクルージョンの本質



➤ 心理的・物理的な「壁」を取り払う

➤ モノカルチャー／居心地の良い場所からの脱出

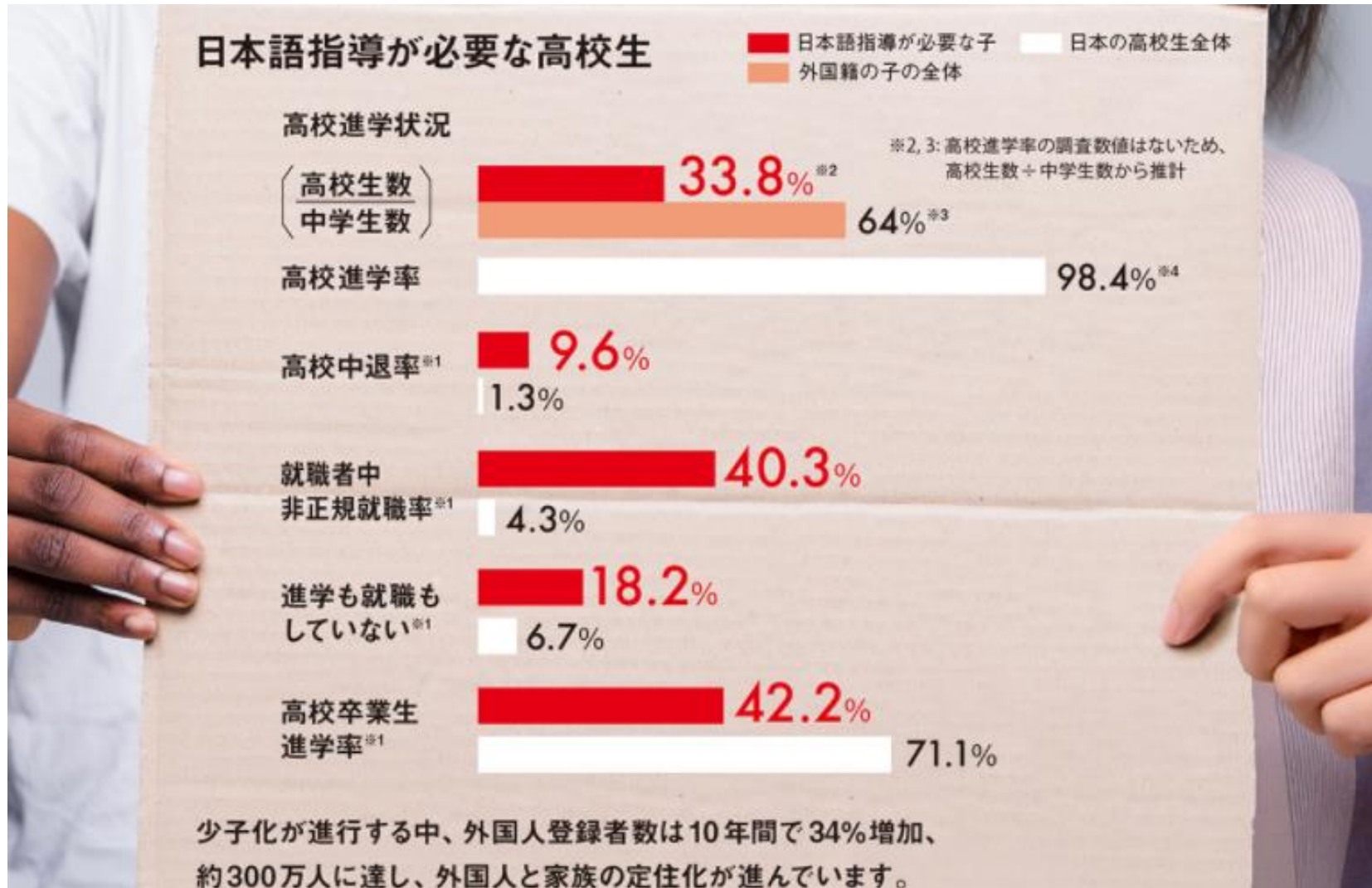
➤ 心理的安全性の確保

D&Iの本質は「謙虚さ＝相手の理解・リスペクト」

日本社会におけるダイバーシティ

住友商事の社会貢献活動プログラム「100SEED」 ～多文化共生社会の実現に向けた教育支援～

日本社会におけるダイバーシティの課題



100SEED: 世界各地で活動がスタート

100SEED（ワンハンドレッドシード）は、2019年の住友商事創立100周年を機に立ち上げた、グローバルで取り組む社会貢献活動プログラムです。SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」を共通テーマに、世界各地の社員が、地域の課題に根差したさまざまな活動に、取り組んでいます。

4 質の高い教育を
みんなに



INDIA

助けを必要とする子供たちに、オンラインで
学びを



SOUTH AFRICA

水不足に直面する学校に水を届ける - 「プレ
イポンプ」



THAILAND

助けを必要とする農村地の小学生にも、学び
の環境を - 「ボタンアップ」



多文化共生

JAPAN

外国ルーツの子どもたちが、安心して学べる
社会を



キャリア教育

JAPAN

未来を考えるきっかけづくり - キャリア教育
支援「Mirai School」



プロボノ

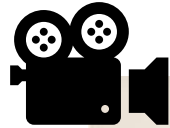
JAPAN

教育課題に取り組むNPOをサポートする -
「教育支援プロボノ」



100SEED: 多文化共生社会を目指す教育支援

今後ますます増える日本で暮らす外国人。その子どもたちは、学習機会やキャリア形成でさまざまな困難を抱えています。彼らの学びに対する支援が、日本の将来を支えるという思いで、2020年10月に始動しました。当社グループ社員が、外国ルーツの子どもたちを支えるNPOの活動を、支援する活動です。



※活動の詳細は、巻末の補足資料をご参照ください。

すべての子どもたちが、夢に向かって、自由な選択ができる社会へ

ダイバーシティこそ、イノベーションや新たな価値創造の源泉

多様性の中で育まれる、子供たちの未来に期待

多様な「個性」をもつ子供たちが、持てる力を発揮できる社会へ

Enriching lives and the world

100SEED : 「多文化共生社会を目指す教育支援」の概要

公益財団法人日本国際交流センター（JCIE）が運営する「外国ルーツ青少年未来創造事業」と連携し、日本に住む外国ルーツの子どもたちの教育課題に取り組む7つの非営利団体に対し、当社グループ社員が、プロボノ支援や、子どもたちの学習支援を行っています。

（公財）日本国際交流センター（JCIE）との連携

- JCIEが、「休眠預金等活用法」に基づいて運営する助成事業「[外国ルーツ青少年未来創造事業](#)」と連携。
- 上記事業の助成対象として、公募で選ばれた7団体に対し、社員が支援活動を行うもの。のべ103人の社員が参加。



◆ 支援活動の内容 :

- ① **非営利団体に対する 組織・事業運営支援**
(広報物制作、HPやSNSでの情報発信支援、営業用プレゼン資料作成、規程類の整備、イベント企画等の運営側のサポート)
- ② **外国ルーツ青少年に対する 学習支援**
(団体が運営する日本語や学校教科の学習支援活動に参加)

